

# やすらぎ

医療法人社団 芙蓉会  
ふよう病院  
千葉芙蓉病院  
きゃらの樹ケアセンター



芙蓉会社内報  
令和3年10月号

芙蓉会

## 理事長挨拶

医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

9月30日に緊急事態宣言が解除され、その後の新規陽性者数の推移も落ち着いた状況を保っています。諸外国の緊急事態宣言と比較しても強制力のない宣言に対し、疑問を呈する時期もありましたが、国民のコロナに対する感染対策の意識向上により現在の状況があると思います。予想される第6波の感染拡大を防止するために、今できる準備をしっかりと実施したいと思います。

例年この時期は人事考課の面談や評価資料の提出があり、考課者（主に役職者）には頭の痛い期間のようです。当会においては10数年前に人事考課制度を正式に導入し、改定を重ね、現在に至っております。評価シートの作成もさることながら、最初に注力したのは考課者の教育でした。立派な考課制度を導入しても、考課する側の理解力が伴わなければ、頓挫すると思ったからです。その後、事務局側の給与・賞与関連資料の整備、スタッフへの制度説明会等、準備期間に半年以上がかかりましたが、制度導入後の賞与支給、給与改定では、不満から発生する離職者を出すことなく、制度継続を維持しております。新しい事に取り組む際には、不安、煩わしさ等が入り交じり否定的な意見もあり



ますが、私は、未来志向的な考えを持てば光が見えてくると確信しております。直近の課題としては、高齢者雇用の待遇改善、新規採用者への教育制度の向上が挙げられます。同一労働同一賃金への対応という面もありますが、特に教育制度の充実については、中長期的な側面からも、スタッフのレベルアップ、離職防止対策として取り組みたいと考えております。現在、電子カルテ導入を目指し、委員会の立ち上げを実施しましたが、人事考課制度の成功を例に、実際に利用するスタッフの理解力を第一に考えて進めていく所存です。

最後に当会では、現在の感染状況を考慮し、今後、施設内における面談を徐々に緩和する意向です。詳細については、ホームページをご覧ください。

## 「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)

- ・ふよう病院
- ・ふよう病院介護医療院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム
- ・千葉芙蓉病院
- ・きゃらの樹ケアセンター
- ・千葉芙蓉ハーモニー
- ・千葉芙蓉ステーション



## 2021 年 9 月院内研修 医療安全「医療ガス」研修

発行者：ふよう病院 清水室長

内 容：

酸素等の医療用ガスの取扱いで一番気をつけなければならないのは、災害時等、緊急停止をしなければならない場面です。今回の研修では、昨年度新たに追加された部分を含む施設に張りめぐらされている配管の全様と、各部署への経

路を解りやすく図解し、もしもの時に元栓を止めるにはどうすれば良いかを解説しました。

自然災害や感染に対するBCPの作成が義務化される中、今後の研修については、それらと結びつけた内容にして、職員に周知を図っていきたいと考えております。

## 2021 年 10 月院内研修 必修研修 感染②「冬場の感染症」

発行者：ふよう病院 感染部会

内 容：

冬に流行しやすい三大感染症として、インフルエンザ、ノロウイルス感染症、RS ウイルス感染症の特徴や違いと、風邪、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症の違いについて、流

行する理由とその予防策について職員に周知する内容としました。

まずは相手のことを知らないと良い策は打てませんし、対策方法を知っていることが予防効果を高めると考えています。

## 2021 年 9 月防災訓練

発行者：ふよう病院 防災委員会

実施日：2021 年 9 月 24 日

内 容：

ふよう病院 B 棟 1 階で、震災を想定した防災訓練を実施しました。災害発生時の災害本部の設営、運営を中心に、情報の集約、伝達をスムーズにできるかを確認しながらの訓練となりました。

医）芙蓉会では、実際の災害時により良い備えができるようにするため、繰り返し訓練を実施しております。



## 2021 敬老祭

コロナ禍前は毎年 500 人以上の方にご来場いただいていた「敬老祭」ですが、今年も昨年に引き続き、ご利用者を対象に施設内のみで開催しました。お祭りの曲が流れる中、ゲームに参

加された方達はどなたも笑顔で楽しんでおられました。非日常の大切さを感じるとともに、大勢で集まって太鼓の音に盛り上がっていた頃に早く戻って欲しいと願うばかりです。



## 院内研修会 安全対策

---

新型コロナウイルス感染症対策のため、資料配布・回覧・各部署でのミニ研修としました。

高齢患者が多数を占める千葉芙蓉病院では、自分で危険の予測ができない方がほとんどです。皮膚が脆弱な方も多く、スキンテア（皮膚損傷）の可能性もあります。また、職員も安全対策に

は十分注意していますが、予期せぬインシデントが起きることもあります。

こうした状況を踏まえて、昨年度の院内のインシデント報告を取りまとめ、発表しました。職員それぞれが、自分の業務を省みて、改めて安全への取り組みを考える機会となりました。